

4 レッドリスト（植物編）2010年改訂版の概要

4-1 概要

レッドリスト（植物編）2010年改訂版は、別紙3のとおりです。また、今回のレッドリスト見直しにより選定された種の内訳は、表1のとおりです。各カテゴリーは、環境省のレッドリストカテゴリー（2007）に従っています。（別紙2参照）

表1 レッドリスト種カテゴリー別集計表

	カテゴリー 分類群	絶滅	野生 絶滅	絶滅危惧			準絶滅 危惧	情報 不足	合計
		EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
高知県レッド データブック 2000	シダ植物	3	1	51	34	13	8	8	118
	裸子植物	0	0	0	0	6	0	0	6
	被子植物	36	0	240	164	118	62	31	651
	小計	39	1	291	198	137	70	39	775
高知県 レッドリスト 2010改訂版	シダ植物	4	1	59	25	31	16	14	150
	裸子植物	0	0	0	0	7	0	0	7
	被子植物	42	0	224	161	176	82	104	789
	小計	46	1	283	186	214	98	118	946
増 減	シダ植物	1	0	8	-9	18	8	6	32
	裸子植物	0	0	0	0	1	0	0	1
	被子植物	6	0	-16	-3	58	20	73	138
	小計	7	0	-8	-12	77	28	79	171

4-2 改定点について

【絶滅（EX）について】

絶滅種は7種類増加し、46種類となりました。変更しなかったのは、シダ植物で2種類、種子植物で18種類です。絶滅種とされていたが高知県植物誌調査で標本が採集された種類は、シダ植物で1種類、種子植物11種類です。そのほか最後に採集された標本から50年を経過していなかったため、絶滅危惧IA類（CR）に変更したものは、種子植物で3種類です。

新たに絶滅種としたうち、高知県レッドデータブックで情報不足（DD）以上のものは、シダ植物ではクラガリシダ、種子植物ではヒゲネワチガイソウ、カワラサイコ、ホタルサイコ、カノツメソウ、ハクウンボク、ヤマタツナミソウ、ヒメシオン、モリアザミ、キリシマエビネ、ヒゲシバ、ケヒエスゲ、マメダオシ、イバラモ、ヒロハノコウガイゼキショウ、メアゼテンツキの15種類であり、新規で絶滅としたものは、シダ植物ではオオバショリマ、種子植物ではヤナギヌカボ、ヒキノカサ、ヒロハヌマゼリ、オオバノヨツバムグラ、ヒメシロネ、ママコナ、オナモミ、ミズアオイ、ノハラテンツキです。

植栽や逸出の可能性のある4種類（ムラサキミミカキグサ、ヒロハノオオウシノケグサ、ヤマコンニャク、イトイヌノハナヒゲ）については、情報不足（DD）へ変更しました。

【野生絶滅（EW）について】

野生絶滅（EW）では、オオタニワタリは変更しません。

【絶滅危惧IA類（CR）について】

絶滅危惧IA類（CR）は、291種類から283種類となり、全体として8種類減少しました。シダ植物では8種類増加し、種子植物（裸子植物、被子植物）では16種類が減少しました。

変更しなかったのは、シダ植物で40種類、種子植物で170種類です。

変更したものについては、絶滅（EX）あるいは野生絶滅（EW）としたのはシダ植物で1種類、種子植物で9種類、ランクを下げたのはそれぞれ4種類と43種類、情報不足（DD）にしたのは2種類と10種類、除外したのは5種類と7種類です。

新たに絶滅危惧IA類（CR）とした種類については、ランクの変更で加えたのはシダ植物8種類、種子植物26種類、新規ではそれぞれ11種類と27種類です。

【絶滅危惧IB類（EN）について】

絶滅危惧IB類（EN）は、198種類から186種類となり、全体として12種類減少しました。シダ植物では9種類、種子植物では3種類が減少しました。

変更しなかったのは、シダ植物で20種類、種子植物で99種類です。

変更したものについては、ランクを上げたのはシダ植物で5種類、種子植物で11種類、下げたのはそれぞれ7種類と35種類、情報不足（DD）にしたのは種子植物で6種類、除外したのは2種類と13種類です。

新たに絶滅危惧ⅠB類（EN）としたものについては、ランクの変更で加えたのは種子植物34種類、新規ではシダ植物5種類、種子植物28種類です。

【絶滅危惧Ⅱ類（VU）について】

絶滅危惧Ⅱ類（VU）は、137種類から214種類となり、全体として77種類増加しました。シダ植物で18種類、種子植物で59種類増加しました。

変更しなかったのは、シダ植物で10種類、種子植物で94種類です。

変更したものについては、ランクを上げたのは種子植物で1種類、下げたのはそれぞれ3種類と15種類、情報不足（DD）にしたものはなく、除外したのは1種類と14種類です。

新たに絶滅危惧Ⅱ類（VU）としたものについては、ランクの変更で加えたのはシダ植物8種類、種子植物41種類、新規ではシダ植物13種類、種子植物48種類です。

【準絶滅危惧（NT）について】

準絶滅危惧種（NT）は、70種類から98種類となり、全体として28種類増加しました。シダ植物で8種類、種子植物で20種類増加しました。

変更しなかったのは、シダ植物で2種類、種子植物で27種類です。

変更したものについては、ランクを上げたのは種子植物11種類、情報不足（DD）にしたのは種子植物1種類、除外したのはシダ植物6種類と種子植物23種類です。

新たに準絶滅危惧種（NT）としたものについては、ランクの変更で加えたのはシダ植物3種類、種子植物36種類、新規ではシダ植物11種類、種子植物19種類です。

【情報不足（DD）について】

情報不足（DD）は、39種類から118種類となり、全体として79種類増加しました。シダ植物で6種類、種子植物で73種類増加しました。

変更しなかったのは、シダ植物で1種類、種子植物で10種類です。

高知県レッドデータブックで情報不足（DD）の種類で、シダ植物2種が絶滅危惧になり、種子植物13種類でランクを変更し、うち3種が絶滅、9種が絶滅危惧、1種が準絶滅危惧となりました。除外したのはシダ植物で5種類、種子植物で8種類です。

新たに情報不足（DD）としたものについては、ランクの変更で加えたのはシダ植物3種類、種子植物21種類、新規ではシダ植物10種類、種子植物73種類です。

5 今後の保護対策

高知県では、レッドリストについて広くその普及を図ることで、絶滅のおそれのある野生植物の種の保存への理解を深めるとともに、関係機関や市町村等に配布し周知することにより、各種事業の計画作成時および事業実施時において、これらの種の保護・保全への配慮を求めるとともに、環境アセスメント等の資料としての活用を促すこととしていきます。

県民の方のレッドリストの入手方法は、別記のとおりです。

【別記】「高知県レッドリスト（植物編）2010年改訂版」入手方法

次のいずれかの方法で入手することができます。

- ① 高知県林業振興・環境部環境共生課に直接出向いて入手
- ② 高知県庁環境共生課のホームページ上から入手
- ③ 返信用封筒（A4版の用紙の入る大きさの封筒に240円切手を貼って、返送先の郵便番号・住所・氏名を記入したもの）を同封し、「レッドリスト2010年改訂版希望」の旨をお書き添えのうえ、下記宛先へ送付して入手

〒780-8570 高知県高知市丸ノ内一丁目7-52 高知県庁西庁舎
高知県林業振興・環境部 環境共生課
レッドリスト担当 宛
(TEL: 088-821-4842 FAX: 088-821-4530)